

## わが家のポイント

できるだけ安く、住みよい家を造りたい、とはたれしも望むところですが、建築家の海野健三さんは自らの知恵と技術をフルに活用して、基礎だけは施工業者に頼み、後はテキスタイル・デザイナーである奥さんと協力、1年以上かけて手づくりでわが家を完成させました。

敷地は11坪余り。まさに狭小敷地です。建物は小屋裏まで入れて



24坪強。59年12月の時点で建築費は約700万円だったそうですが、「業者に頼んで施工してもらって1300万円くらい」とは海野さんの話。

狭い敷地をフルに活用するため知恵をしぼり、お隣と話し合って敷地境界線きりきりに

## 建築家の手づくり住まい

東京・江戸川区・海野健三さん

外壁を持ってきました。写真は1階の仕事部屋ですが、隣家にくっついた状態で日差しを取り入れるのに、大変苦心をしています。天井から高窓状に丸みをつけた窓をとり、斜め上から取り込んでいます。

この窓はガラスではなく、ポリカーボネイト板。柔軟さを利用し、カーブした窓枠に沿ってロープで開閉する仕組み。窓は特許出願中ですが、狭いから工夫し、工夫が生きた家となったと海野さんは自慢です。